

新製品『新旧文書比較ソフト』の紹介 ～ドキュメント作成作業の150%効率UP～

2010年1月30日

株式会社 IT企画

advit2007@gmail.com

<http://www.advanced-it.co.jp/>

新旧文書比較ソフトの概要

1. 「新旧比較表」の必要性について
2. 「新旧文書比較ソフト」の開発経緯と実績
3. 「新旧文書比較ソフト」の機能
 - ① 新旧比較機能
 - ② 新文書作成機能
4. 「新旧文書比較ソフト」の導入効果

なぜ今、「新旧比較表」が必要なのか？

「約款・新旧対照表」をネットで検索してみると・・・



自治体・官庁をはじめ「新旧対照表」という
単語が様々な業界で出現

J-SOX法 2008年4月からスタート



法的規制への企業対応が求められる時代へ

『新旧文書比較ソフト』開発の経緯

XML技術をコアに2003年には既に商品化



『社内規則改定システム』『マニュアル改定システム』
などで実現



大型の文書系システムのみで一部提供されていた
高度な機能を、いつも使っているWordの機能として
手軽にお使いいただけます

システム化実績

大手通信会社(2006年)

- 大量の改訂業務量、大幅圧縮のために新旧対照表作成システムを導入。

重工メーカー(2006～2007年)

- 新旧対照機能搭載のマニュアル改訂システムを導入。

大手生保会社(2009年)

- 保険約款改訂認可申請の際、新旧対照表の提出が義務化に伴い新旧対照表自動生成機能搭載の文書作成管理システムを導入。

※ 上記これまでのシステム開発実績から、「新旧対照表作成」機能のみを再構成。金融商品や医薬添付文書など認可申請時やSOX法対策など、昨今のニーズ増加に対応し、低コストで手軽に扱えるツール化を実現。大型システムが不要なケースはもちろん、各種システムとの連動などで個別のカスタマイズが必要なケースにも柔軟に対応可能です。

基本機能

旧バージョンのWordは一度Word2007で開けてから、docx形式で保存する事で旧バージョンWord文書の比較も可能となります。

新旧比較機能

- 比較結果ファイルを作成(全文比較対照表、変更箇所比較対照表)
- 省略(変更箇所のみを表示)、展開(省略から再び全体を表示)が自在に操作可能

新文書作成機能

- 新規文書作成支援(旧文書読み込みと変更箇所を明示)
- 提出用「新旧対照表」の作成(全文比較対照表、変更箇所比較対照表)
- 変更箇所を反映した新文書の作成

適用効果のある文章

新旧文書を比較した改訂管理が不可欠となる
「重要文書」とは？

分類	ドキュメント例
法的な規制に対する認可が必要な文書	金融商品の約款、医薬品の添付資料、 官庁の認可申請文書
商取引に必要な文書	基本契約書類、商品マニュアル
企業の内部統制に必要な文書	業務規程、業務管理マニュアル 品質・技術標準の管理マニュアル
官公庁の公文書	各種公文書

新文書作成機能デモ

以下のケースを想定。

1. 営業担当者が旧保守契約書から新保守契約書を作成。
2. 完成した保守契約書を、上司に確認してもらう

※通常は、

- 新・旧の双方を営業担当者が印刷
- マーカーなどで変更箇所を明示
- 上司が目検によりチェック



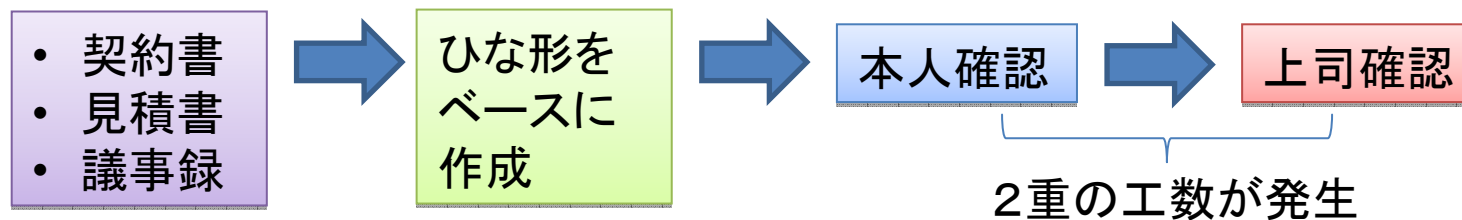
「新旧文書比較ソフト」なら、担当者と上司の合計作業工数を1/4以下に！

旧文書を基に新文書を作成する際の課題点

設計部門

- 旧文書と新文書それぞれを印刷(量も大量)し、チェックする手間
- 修正箇所をピンポイントで探す手間

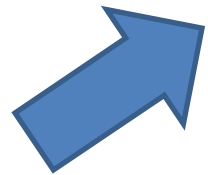
営業部門



「新旧文書比較ソフト」ならば、上記課題点を解決！

- 旧文書と新文書それぞれを印刷し、チェックする手間→不要
- 修正箇所修正箇所をピンポイントで探す手間→不要
- 担当者本人および上司が確認するための時間と手間→不要

導入効果



業務効率150%UP！！

重要文書の改訂作業の効率化

- 新旧の文書を単に比較するだけでなく、旧文書から新文書を作成する編集・作成業務の生産性を飛躍的に高めます。

文書の品質の向上

- 「新文書を作成するユーザー」と「新旧文書をチェックするユーザー」のいずれの立場であっても、複雑化する文書の記述内容について、整合性を保ちながら、正確に「改訂内容を明確化」することが可能です。

知的財産の有効活用

- 大規模な文書管理システムを導入することなく、複数のユーザーが業務文書（＝経営資源）を有効に活用することが可能です。

エントリー版と高機能版について

①エントリー版

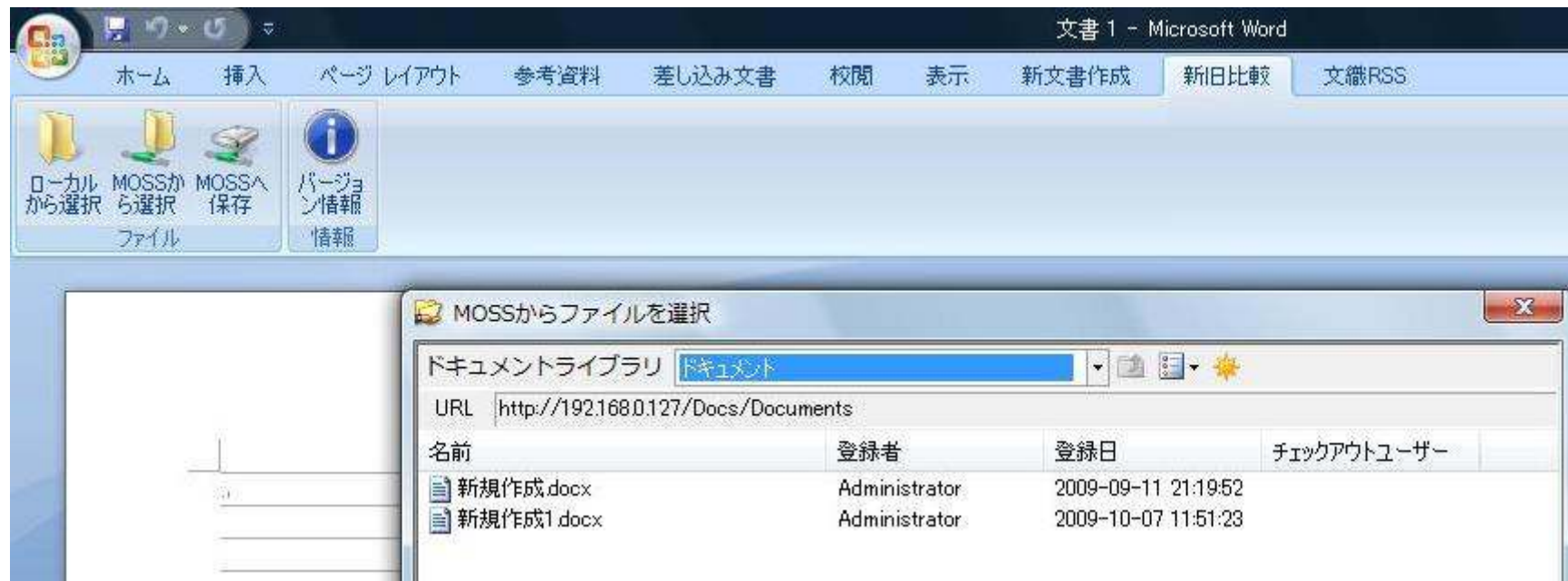
- 一般的なWord文書作成に適用
※殆どの業務で作成された文書の新旧文書比較に対応可能

②高機能版（構造アウトライン比較対応）

- エントリー版に加えて、文書構造単位での比較機能を持たせたもの
- 専門部門（約款・定款や法令等）の文書作業には必須の機能。
※Word内ではアウトラインという用語で表現されています。

文書管理システム連携

- 「新旧文書比較ソフト」は、新旧対照表を作成するために単独で利用することも、既存の文書管理システムに組み込んで利用することも可能です。
- 一般的な文書管理システムには、重要文書の改訂管理(新旧対照)機能が不足しています。「新旧文書比較ソフト」を既存の文書管理システムと連携させることにより、文書全体の管理と改訂管理を同時に実現することが可能です。



新旧文書比較ソフト価格体系

	価格	ライセンス数	保守 月間サポート回数 (1年間有効)
エントリーパック5 (構造アウトライン比較なし)	¥200,000	5PC	月4回 (保守契約必須:24,000/年)
高機能パック5 (構造アウトライン比較版)	¥300,000	5PC	月4回 (保守契約必須:36,000/年)
エントリーパック10 (構造アウトライン比較なし)	¥300,000	10PC	月4回 (保守契約必須:36,000/年)
高機能パック10 (構造アウトライン比較版)	¥500,000	10PC	月4回 (保守契約必須:48,000/年)
エンタープライズパック (高機能版PC版)	¥2,000,000	無制限PC	月8回 (初年度保守契約込) (次年度保守任意:240,000/年)
サーバーライセンス (起動用API付き、高機能版)	¥3,000,000	1サーバー(無制限PC)	月8回 (保守契約必須:360,000/年)
MOSS連携版 (高機能版+MOSS連携モジュール)	¥3,000,000	1サーバー(無制限PC)	月8回 (保守契約必須:360,000/年)

★保守契約:メール、Faxでの問い合わせ対応
 期間内無償バージョンアップ
 ※Wordのバージョン変更対応は別製品